

〔創作〕 退位したかった天皇

盛丘 由樹年

ボクは、なりたくて天皇になったわけじゃない。物心がついたときには、もう皇太子になっていた。周囲は当然のごとく、天皇の長男に生まれたから、世嗣だという。そんなこと、おかしくないか？ 天皇は世襲制だなんて、誰が決めたんだ？ 偉大な父に生まれた子どもは、それだけで偉大だということか？ リーダーの素質があるというのか？ 過剰に期待されても困るよ。ボクをおだてても、何も出やしないよ。

ボクは生まれながらに皇族の一人に扱われているけど、生まれも育ちも関係ないよ。昔はともかく、今は人間に貴種だの、卑しい身分だの、あるものか。そんな時代じゃないだろ？ 人を身分で分けたり差別したりしては、平等の精神が泣いてしまうよ。学校で生徒に「人はすべて平等だ」なんて、教えられないだろ？ 「皇族たちは例外であり、皇族の身分は庶民より格上です」なんて、純真な児童や生徒の前で言えるの？

なぜボクなんだ？ ボクなんか、人よりえらいわけでも、優れた人間でもない。普通の人格をもつ、普通

の能力しか持たない人間だ。それに、ボクはもう年老いた、無力に等しい老人だ。この老身に何ができる？ 言われるがままに式典に出ていても、上の空では参加者に失礼だろ？ 天皇には、なりたいやつがなればいんだ。ほかにふさわしいやつがいくらでもいるだろ。

無形有形の、天皇家の祖先から受け継いでいるものがあるはずだつて？ 伝統文化の継承者とも言うんか？ 古いきたりを受け継いでいるかも知れんな。でも、今の世の中にそれが必要かはわからんよ。一人を頂点とする政治的指導力が必要だった昔の時代には意味があったただけだ。確かに天皇は権力の象徴だったことがあるよね。今は違うだろ。国の象徴と定義されているだけだ。

歴史上、天皇はトップ権力の象徴だったこともあるけど、いつの世でも実際の権力者は別にいたんだろ？

そりゃー、神話の中で語られているように、ボクらは、天つ神の子孫ということになっているよ。皇祖神は天照大神であつて、数千年もの昔にその直系の子孫が高天原から降臨したつて言うね。おそらく「神」がかりした名門の女性がヤマトの地にやつて来て、諸国が対立状態だったのをまとめる役割を果たしたんだろ。それをモデルとして神格化したわけだろ。ボクがその

血を引いているとしても、今では万人の血で、限りなく薄められてしまっていることだろうよ。

えっ？ そんな未裔まごえいの男でも即位のときに大嘗祭だいじょうさいの儀式をすれば、神と一体化されて、神に近づけるって？ そんな「一夜漬け」のようなことをしても、現実的にそれはありえないよ。ボクに神のような特殊能力を期待してはいけないよ。どこかの新興宗教の教主様ではないんだ。神のごとくに扱われるのは、こそばゆいことだ。ボクにそんな力があつたとすれば、大震災なんて、日本では起き得ないよ。全能どころか、何一つ、防ぐような力はないんだから。

ボクが見舞いに行った被災者には、心の中で「ボクに力がなくてすみません」と謝りたいくらいだ。先の原発事故に関しても、風向きが問題だったね。あのとき、海からの東南の風が大量の放射性物質を運んで、どこかの県などに撒き散らしちゃったろ。それを防ぐような神風なんか、ボクには吹かしようがないよ。父もそうだったんじゃないか。

天皇を国家元首にしたいだど？ フン（鼻で笑う）。元首とは、指導者のことだろ？ 国家的な責任を持つ人物を言うのだろ？ ボクのように政治的権力のひとかけらも持たず、政治に口出しも出来ない者を元首に

するのかよ。名ばかりの国家元首でいいのかよ。

テメーら、どこまで政治利用したいんだ？ そんなに天皇制を政治的に利用したいんかよ。利用価値があると思っつてんだろ。だから、誰でもいいから、ボクのような者でも天皇に据えておきたいんだろ。神がかった皇国を信奉させて、国民を手懐てなずけたいんか？ あるいは、敵対する勢力に対して、錦の御旗を見せ付けられ、戦いに勝てると思っつてんだろ。抵抗勢力に賊軍のラベルを貼りたいんだろ？

ボクの日ごろのスケジュールでさえ、自分では決められないんだ。宮内庁が発案して、ボクはそれに従って行動しているようなものだ。宮内庁にしても、どこからか要請を受けて、スケジュールを調整しているんだろ。ボクは知らないところで決まっているんだろ。ボクは知らないよ。だいたい、天皇の公務というのは「国事」に関するものだろ？ 拡大解釈して、国事に名を借りた行事や式典が多すぎないか？

大きな災害現場によく行かされるけど、ボクらのような者が行つてもどうにもならんだろ？ 言葉をかけるだけで、彼らにはありがたい？ ボクの言葉にどれだけ「ありがたみ」があるというんだ？ 彼らには、救援物資を送つてもらつた方がよほどありがたいこと

だろうよ。

このまま死ぬまで天皇かよ？死ぬまで天皇を務めなきやいかんのか？周囲から言われるがままの言動で、いいんだろうか。空々しい儀礼に立ち会うのは、もううんざりだ。気力もないし、ボクの体力じゃ、もうやつてられないよ。退位の意向を表明してやるよ。天皇という「役職」に定年や任期があってもいいだろ？もう、担ぎ上げられた「神輿」から下りたいんだ。これはボクの初めての意思表示だ。押し付けがましい体制に対する、ささやかな抵抗だ。でも、ボクが勝手に退位したら、皇室典範に反することになるらしいね。投げ出すこともできんわけだ。自分では退位さえ思うようにならんのかよ。

いま、政府に選出された有識者と言われているような人物や各党の代表のような顔をしている連中が、当の本人を差し置いてケンケンガクガクと議論しているよ。退位後の称号を「上皇」とするかどうかなど、どうでもいいことを……。ん？上皇じゃ、格上げじゃないか。そんな尊称をもらったんでは、ボクは退位した気がしないよ、まったく。

法整備を進める上で、各党で思惑の違いがあるらしいね。ボクの退位を巡って、党利党略で議論しては困

るよ。

そしてボクが退位したら、ボクの息子が天皇になるのだろう。息子も、生まれたときから皇太子にされている。息子が天皇になったとしても、いつかは退位を考えることがあるだろう。そのときはさっさと退位してしまえ！ボクが先鞭をつけてやる！

父は退位しなかったんだ。終戦時に責任を取る覚悟だった父は、「それでは暴動が起きる」とか、「国民が連合軍に反発する」とか何とか、言い含められて周囲から退位を押し止められた。1941年12月、英米を向こうに回して無謀な戦争を仕掛ける決断をしたけれど、国の内外で戦禍を招く結果となった。4年後に降伏したとき、責任は重大だったが、何の罪にも問われず、廃位にもされなかった。昔だったら、戦いに負けた天皇は島流しにされたところだろ。

ボクは、父の思いを受けて、誰が何と言おうと退位してやる！ボクが退位しても暴動は起きないだろうよ。退位して自由人になるんだ。

ボクが死んだら、墓の場所はもう決まっているらしいね？どんな大きさの墓になるか、想像はつくけれど、どうでもいいことよ。墓だけは立派だと言われたくないんだが……。なに？墓ではなく陵だと？